平成29年3月22日

ホームページをご覧の皆様

川西市立久代小学校
校　長　　今北　隆博

学校評価アンケート　結果のまとめ

平素より本校教育にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本年度も本校教育活動について保護者を対象としたアンケートを実施し、本校教育の成果や課題について検証してまいりました。

また、学校評価のまとめにつきましては、学校評議員の皆様にもご協議いただき、その際のご意見やご助言を学校関係者評価として掲載しています。

皆様からいただいた貴重なご意見やご助言を今後の教育活動に活かし、本校教育の充実に努めてまいります。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

学校評価アンケート（保護者対象）集計結果

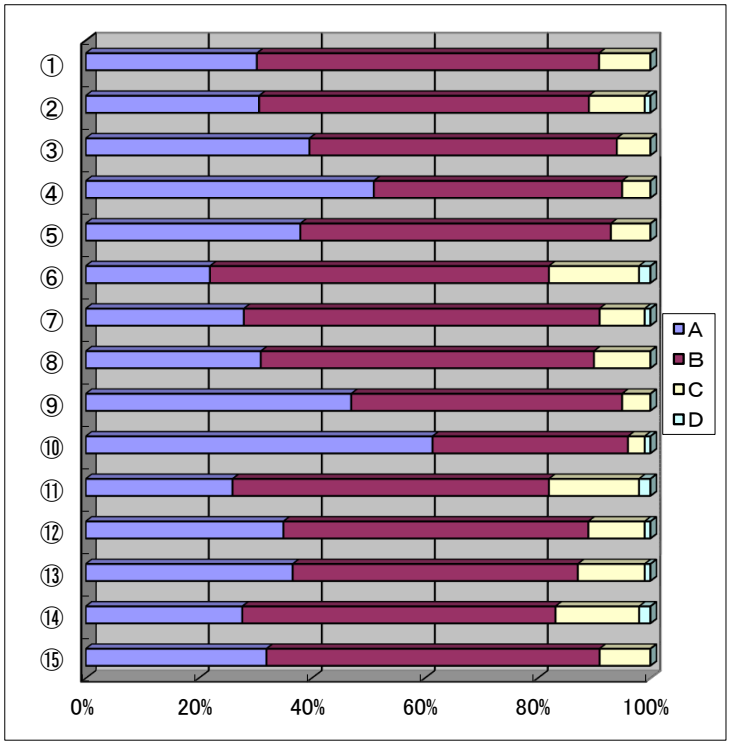
359名中271名のデータ(回収率75%)

【質問内容】

① 学校は、学習意欲を向上させ、進んで学習に取り組む授業を実践している。
② 学校は、学力向上に向けて、学習規律や学習習慣を身に付けさせようとしている。
③ 学校は、友だちとつながり、喜びを感じる「体験活動」を充実させようと努めている。
④ 学校は、縦割り活動や委員会活動を通して、子どもたちの結びつきを深め、自主性を高めようとしている。
⑤ 学校は、子どもたちが、安心して生活できる集団づくりに努めている。
⑥ 学校は、子どもの気持ちや内面を理解しようと努めている。
⑦ 学校は、基本的な生活習慣や社会生活上のルールを定着させる取り組みをしている。
⑧ 学校は、子どもの健康や体力づくりに努めている。
⑨ 学校は、子どもが危険から身を守り安全を確保できるように、安全教育に努めている。
⑩ 学校は、地域住民と一緒になって、子どもを守り育てようとしている。
⑪ 学校は、保護者の思いを受け止めた指導にあたるよう努めている。
⑫ 学校は、学校行事や授業参観等に、保護者や地域の方々が参加しやすいように工夫している。
⑬ 学校は、学級、学校に関わる情報の発信を通して、開かれた学校づくりに努めている。
⑭ 家庭では、子どもに家での学習習慣を身に付けさせようとしている。
⑮ 家庭では、食事や睡眠時間などに気をつけて子どもに健康的な生活習慣を身につけさせようとしている。

【回答のパーセント表示】

	A	B	C	D
①	30.0	60.0	9.0	0.0
②	31.0	59.0	10.0	1.0
③	40.0	55.0	6.0	0.0
④	51.0	44.0	5.0	0.0
⑤	38.0	55.0	7.0	0.0
⑥	22.0	60.0	16.0	2.0
⑦	28.0	63.0	8.0	1.0
⑧	31.0	59.0	10.0	0.0
⑨	47.0	48.0	5.0	0.0
⑩	62.0	35.0	3.0	1.0
⑪	26.0	56.0	16.0	2.0
⑫	35.0	54.0	10.0	1.0
⑬	37.0	51.0	12.0	1.0
⑭	28.0	56.0	15.0	2.0
⑮	32.0	59.0	9.0	0.0



※　小数第一位を四捨五入しています。

A. できている。　B. どちらかといえば、できている。　C. どちらかといえば、できていない。　D. できていない。

アンケート結果のまとめ（学校としての結果のとらえ方）

学校評価の回収率は今年度は75%で、前年度とほぼ同等の回答を得ることができました。保護者の皆様の学校への期待と関心への高まりと評価できます。学校の経営目標につながる「子どもたちが安心して生活できる集団づくりに努めている」の項目は93%と高い評価をいただいています。同時に実施した児童・教職員アンケート結果と合わせて推察しますと、児童が安心して活動できる環境が整ってきていると考えます。更に「縦割り活動や委員会活動を通して、子どもたちの結びつきを深め、自主性を高めようとしている」の項目は、児童・保護者・教職員共に、高い評価を得ています。6年間の継続した取り組みの成果であると評価します。また、「地域住民と一緒になって子どもを守り育てようとしている」の項目は前年度とほぼ同等97%という高い評価をいただいています。久代地区の子どもたちを共に育てようとする思いの強さが風土として受け継がれていることの現れであると感じます。

本校の重点課題である学力向上については、高い評価をいただいておりますが、ますます確実な基礎学力の定着と学びの関心・意欲の向上にむけて「チャレンジタイム」「放課後学習」等の実施と併せて、日々の学習活動の質の向上を目指していきたいと考えております。

一方、「保護者の思いを受け止めた指導に当たる」はAは3ポイント上がっていますがABを合わせると下がりました。児童・教職員アンケートと多少のずれはありますが、保護者の学校への要望と捉え、尚一層ご期待に添えるよう教育活動の充実に努めます。「子どもの気持ちや内面を理解しようと努めている」の項目につきましては、縦割り活動、学年活動、兵庫型教科担任制等を通し、多くの教師の目で子どもの観察に努めてきました。しかし、日々成長する子どもの内面に迫れていない場面も多々あると思います。保護者の皆様と連携を密に取りながら内面理解に努めます。

以上顕著な傾向について記述しましたが、細かい相違点については全教職員で検証しながら共通理解を図り、今後に生かしていく所存ですので今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

学校関係者評価（学校評議員による意見）

〇学力向上のための取り組みについて

・久代小学校の課題である学力の向上については、今後さらなる取り組みを期待する。家庭学習の習慣化については、保護者と連携を取りながら基本的生活習慣の見直しを啓発しながら家庭学習が定着するように、学校からの働きかけがより一層大切である。

〇豊かな心の教育の取り組みについて

・落ちついた教育環境が豊かな心を育む。多くの教師の目で子どもを見守る体制を維持しながら、指導を進められるとよい。特に、望ましい集団作り（学級経営）に期待する。

・縦割り集団の取り組みを続けることにより、自尊感情の高まりを期待する。

〇学校・保護者・地域の連携について

・「できないことができるようになる喜びを一つでも多く体得させる」ためには、温かさと厳しさが必要。学校と家庭がより一層連携を取り合い、共通理解を図り指導を進めるとよい。